

被害想定項目等における主な発言とその対応について

資料1

○ 確認事項

委員名	想定項目名等	内容等	WGでの回答	今後の対応
岡田座長	断層モデル	国と道でかなり違うが国のデータは貰えないのか。国データがあればそれをそのまま使い地表面にあげるときに道の細かいデータを使えば良い。	検討する。	国へ問い合わせを行っている。 (今回の議論では決定する必要がないため今後、整理を行う。)
中嶋委員	地震動	EMPRでは長周期地震があまり評価出来ないのが高い建物など過小評価になってしまう。	そこをどうするかは難しいが、今回の手法は建物で長周期地震は別に議論したい。	長周期地震の項目で定性評価として対応する。
中嶋委員	揺れによる被害(建物)	積雪深1.0m未満を0.7mとしているが太平洋側はほとんど雪が載らない地域があり過大評価になるのでは。	今の指摘を踏まえてどの深さにするか精査したい。	建築基準法施行令第86条第3項に基づく道内市町村の垂直積雪量によると太平洋沿岸域で60cm～100cmの範囲にありアメダスの平均地より低くなっています。一方、国では積雪1mで構築した関数を一律適用していることもあり積雪深さを低くせず0.7mの数値を用いることとする。
中嶋委員	揺れによる被害(建物)	研究の段階であるが屋根形状をどうするのか。	根拠となるデータが無いので(計算等は)難しい。	根拠となるデータ等がないので計算等は行わない。
中嶋委員	急傾斜地による被害(建物)	建物被害数を出すのに震度別の家屋被害率をかけているが土砂災害は起きているので、震度の影響はなく揺れによる被害を2重に加算しているのでは。	鳥取県の手法を使っているが調べてみる。	過去の被害調査では、崖崩れの有無と被害率の関係ではなく、震度と崖崩れによる建物被害の関係で整理していることから、このような式としてしていると思われる。崖崩れの規模と被害率の関係が不明なことから本手法を採用せざるを得ないと判断する。
岡田座長	地震火災による被害(延焼:焼失棟数)	国が手法を変えた理由について問いあわせて欲しい。可能であれば手法の違いでどの位の差があるのかも検討していただきたい。	国に確認する。	首都直下地震においては、広域的な消防応援が期待できると考えられるため、時間経過に伴う延焼拡大状況が評価できるモデルを採用されたが、北海道の状況には馴染まないことから、前回の道手法と同じとする。
有村委員	地震火災による被害(延焼:焼失棟数)	国のやり方では100回繰り返しても足りないと思った。道のやり方では建物の分布から延焼クラスターを判断するならしっかりしたデータベースが出来上がるので良い。		

中嶋委員	ブロック塀等	ブロック塀の使用率は愛知県とは明らかに違うので過大評価となる。また屋外落下物について落雪、雪庇について影響が大きいので記載が必要。	雪庇については、議論していきたい。ブロック塀については箇所数が少ないがどうするか改めて示したい。	データ収集が困難なことで被害の影響等を踏まえ定性評価とする。なお、雪庇についても定性評価とする。
岡田座長	ブロック塀等	落下物ではないが灯油タンクが倒れると暖房が使えなくなるので検討した方が良い。	定量的に出来るかどうか分からないが検討する。	定量的な評価は難しいことから定性評価とする。
橋本委員	津波による被害(人的被害)	観光客数について駐車場とかの指標があるので、それで推定するという事は難しいのか。函館でそういう論文が書かれている。	相談させていただく。	全道規模で駐車場の位置を整理することは困難であること、また入手可能なデータが市町村単位の観光客入り込み数のみのため、当該データを利用するしかないという状況。
中嶋委員	建物倒壊による被害(人的被害)	あとの避難者の項目に関係するが冬期の避難者数の影響が入っていない。建物が倒壊すると1時間くらいで外の気温と同じになるので家にいられない人も避難者に入れるという考え方は必要。避難者とする必要は無く暖を取れない人という項目を作って載せる方が減災目標を検討する中では重要。	暖房停止の影響を受ける人の人数について建物の損壊率等で数値を出すことは出来るので検討する。	冬期の避難者数に含まれることから別項目は作らないが、別に計算できるデータ等があれば分けて整理を行うこととする。

○ 検討事項

寒地土木研究所(オプザーバー)	津波による被害(建物被害)	国の計算手法以外でも被害関数の設定を検討する余地があるのではないか。		寒地土木研究所からの説明を踏まえて、今回のWGで決めることとする。
橋本委員	津波による被害(人的被害)	津波避難ビルの効果で水平避難だけではなく垂直避難の考慮も必要では。	根拠の数値があれば検討は可能であり考慮した方が良いとは思ふ。	橋本委員からの説明を踏まえて、今回のWGで決めることとする。
岡田座長	津波による被害(人的被害)	メッシュでやるかルートでやるかについては、個別の相談でどうか。	橋本委員と相談させていただく。	橋本委員からの説明を踏まえて、今回のWGで決めることとする。
橋本委員	急傾斜地による被害(人的)	避難路が土砂災害で塞がるという問題があるため定性評価でも良いので、土砂災害の影響により津波被害が増える等書いた方が良い。		橋本委員からの説明を踏まえて、今回のWGで決めることとする。